

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	A-2-4
事業名	旭市立飯岡中学校改築事業（屋外教育環境整備・グラウンド等）
事業費	総額 247,108 千円 ※上限 60,000 千円（国費 40,000 千円） （内訳：工事費 245,523 千円、監理費 1,585 千円）
事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度

事業目的・事業地区

・事業目的

東日本大震災により津波が到達した旭市立飯岡中学校を内陸部へ移転の上改築することで、生徒の安全を確保し安心して学校生活を送れる施設とする。また、地域住民の避難場所としての機能も付する。

・事業地区

移転先 旭市横根 3746 番地

敷地面積 36,285 m<sup>2</sup>

校舎等改築	校舎	鉄筋コンクリート造 2 階	延床面積	4,882 m <sup>2</sup>
	屋内運動場	鉄筋コンクリート造 2 階	延床面積	2,572 m <sup>2</sup>
	屋外環境施設	グラウンド整備	23,205 m <sup>2</sup>	



事業結果

施設概要 屋外環境施設 グランド整備 23,205 m<sup>2</sup>  
外構・植栽・駐輪場・雨水貯留施設等



①被災前



②被災前



③津波被災状況



④津波被災状況



⑤移転先用地



⑥移転先用地



⑦陸上トラック 野球グラウンド



⑧駐輪場 テニスコート サッカーグラウンド



⑨陸上トラック



⑩野球グラウンド外野



⑪外構及び植栽



⑫外構及び植栽



⑬外構及び植栽



⑭外構及び植栽



⑮雨水貯留施設



⑯雨水貯留施設

### 事業の実績に関する評価

#### ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

東日本大震災により津波被害を受けた飯岡中学校について、最大クラスの津波の想定浸水域より内陸へ移転改築することで、生徒の安全で安心な教育環境を確保できた。

また、地域住民の避難場所としての機能を強化することができた。

#### ② コストに関する調査・分析・評価

移転前は点在していた屋外教育環境施設を集約し、体育や各種部活動に必要なグラウンド面積を確保しており、事業費に過大な部分はない。また、集約することにより、周囲の安全壁や防球ネット、照明や散水設備及び給排水設備等の外構費を縮減するとともに、生徒の移動時間も縮減でき、教育環境は向上している。

#### ③ 事業手法に関する調査・分析・評価

飯岡中学校の移転先は、津波の心配が無く、避難路や緊急輸送路である国道 126 号からアクセスの良い場所を選定している。当初の復興交付金事業計画では平成 26 年度に完了予定としていたが、法令手続き等に時間を要したことにより遅延したものの、学校用地を飯岡西部土地改良事業により創設された非農用地を活用できたことで用地を短期間にまとめて取得でき、その後の設計業務及び建設工事についても概ね順調に進むことができた。旭市復興計画の計画期間内である平成 27 年度に新校舎が完成し、供用を開始することができた。なお、旧校舎解体工事は平成 28 年 5 月に完了している。以上のことから、事業手法・事業期間は妥当であったと考えられる。

### 事業担当部局

教育総務課施設班 電話番号：0479-85-8619